

年度:2019年 LOM番号:0568

【褒賞申請書】

事業名称	一般社団法人泉青年会議所2018年度8月例会 IZUMI279プロジェクト～羽生結弦選手の巨大フォトモザイクアートをつくろう！～
カテゴリー	最優秀 LOM 地域社会向上プログラム部門

申請LOM	東北地区宮城ブロック協議会泉青年会議所
LOMの人数	80名
理事長名	理事長 植木徹郎
担当者名	JCブランド確立委員会 委員長 菊地俊光
担当者携帯番号	080-1811-4779
事務局住所	宮城県仙台市泉区七北田字東裏163-1
事務局TEL	TEL022-373-8838 FAX 022-373-8821

本事業の参加者	会員数	54名
	関係者数	95名
	一般参加者数	755名
事業実施に至る背景 400文字程度	社会構造の変化に伴い、地縁的なつながりが希薄化し、我々の活動エリアにおいても人々の助け合いやまちづくり、防災など地域住民が一体となるべき地域コミュニティが衰退の傾向にあります。地域住民が、思いやりの心を持ち、自分たちの地域に誇りと郷土愛を醸成することが必要です。	
事業目的 400文字程度	地域のつながりを強め、地域住民の一体感を高めること。 主体的にまちづくりに関わっていることを、強く意識してもらうこと。	
SDG'sの該当項目	11:住み続けられるまちづくりを 17:パートナーシップで目標を達成しよう	

事業概要 400文字程度	泉区内279の企業や団体など、たくさんの人や団体に関わることにより、地域のつながりや一体感を高めることを目的としました。 279を語呂合わせで「つなぐ」と読み替え、“つながり”をキャッチーに表現しました。 「なんだろう?」「どういう意味だろう?」と目を引く事業名で、写真応募を促進し、279の企業や団体を訪問してチラシ・ポスターを配布しました。 事前に、泉区住民、行政、企業、関係団体などから写真を7,000枚応募し、来場者15万人の泉区民ふるさとまつり当日に、来場者により写真貼付けて羽生結弦選手をデザインした縦3.6m×横2.7mの巨大フォトモザイクアートを完成しました。
開催期間・ タイムスケジュール	開催期間 2018年8月25日(土曜日)13:00~17:00 タイムスケジュール 08:00 まちづくり・まちの未来メンバー集合 09:30 全メンバー集合、開会宣言 09:31 理事長挨拶 09:35 事業説明(まちづくり委員会、まちの未来創造委員会) 10:00 会場設営開始 13:00 巨大フォトモザイクアート制作開始 14:00 進捗状況確認① 15:00 進捗状況確認② 15:30 最終打ち合わせ(爆笑コメディアンズ、七北田小学校)台座組立開始 15:50 メインステージへパネル移動開始 16:00 爆笑コメディアンズお笑いライブ ※メインステージ パネル組立開始 ※メインステージ脇 16:20 爆笑コメディアンズお笑いライブ終了 パネル・台座組立 16:30 巨大フォトモザイクアート完成セレモニー ※メインステージ 16:45 七北田小学校合唱披露 ※メインステージ 17:00 終了、開場撤去
開催場所	第38回泉区民ふるさとまつり会場 仙台市泉区七北田字柳78 七北田公園内 泉ヶ池周辺、メインステージ脇、及びメインステージ
事業区分	新規
公益・共益区分	公益事業
事業総予算・収支	予算計: ¥260,000円 支出計: ¥256,871円

協力団体	共催	泉区民ふるさとまつり協賛会
	協賛	泉区まちづくり推進課(各種申請協力) みやぎ仙台商工会青年部(花火募金活動協力) 仙台市立七北田小学校(出演協力) 爆笑コメディアンズ(出演協力)
	後援	無し
	その他	
事業	<p>泉区民ふるさとまつり来場者及び写真応募者 泉青年会議所正会員及び仮会員</p>	
行動 (ACTION TAKEN) 400文字程度	<p>社会構造の変化に伴い、地縁的なつながりが希薄化し、地域コミュニティが衰退の傾向があります。</p> <p>そこで、思いやりの心を持ち、地域に誇りと郷土愛を醸成することが必要であると立案しました。</p> <p>地域の企業や団体、住民同士のつながりを創り出す巨大フォトモザイクアートを考案しました。</p> <p>フォトモザイクアートとは、たくさんの写真が集まり、一つのデザインをつくりだします。</p> <p>地域からたくさんの魅力あふれる写真を募集し、地域にインパクトを与えるデザインを完成させて、地域のつながりや一体感を創出しようと考えました。</p> <p>泉区最大の祭り「泉区民ふるさとまつり」で 住民が一体となって完成させるために、完成デザインは地域にインパクトを与え、泉の宝であり、世界的なスーパースター羽生結弦選手を選択しました。</p> <p>羽生選手の写真を使用するにあたり、羽生選手の御父さん、河北新報、ANA、㈱電通からの許可をいただきました。</p> <p>事業後は、仙台市泉区役所に展示していただき、その後仙台市立七北田小学校に寄贈しました。</p>	
結果 (RESULT)	<p>七北田小学校アンケート回答から、泉の人たちと「ひとつになった」「つながっている」と、とても感じる、少し感じたという回答が94%を超えていたため、地域のつながりが強まり、地域住民の一体感を高めることが出来たと考えられます。</p> <p>七北田小学校の児童には事前に授業の一環として泉区の好きなところの写真を自分たちで撮ってきていただき、それを学校で取り纏めて応募していただきました。</p>	

	<p>当日はフォトモザイクアートに写真を貼っていただき、完成となりました。また、実際に合唱やソーランをやっていただいた時に、来場者から大きな拍手や歓声があがり、児童たちからも達成感から笑顔や歓声があがっており、みんなと協力して成し遂げることの素晴らしさ、一体感が高まったと考えられます。</p> <p>写真応募者からのアンケート集計結果より、「素晴らしかった」、「またやってほしい」、「いずみの絆のプロジェクトにまた参加したい」等、県外からも沢山のコメントをいただき、地域とのつながりや一体感をとても感じる、少し感じるという回答が合わせて100%となりました。</p> <p>本事業を通して地域とのつながりを強め、地域住民の一体感を高めることができたと考えられます。</p> <p>JCメンバーアンケートの回答から、「私たちの運動が 影響を与え心に変化を与えた」という思いへの変化に、「とても感じた」「少し感じた」という回答が合わせて85%と高いことから、主体的にまちづくりに関わっていることを、強く意識していただけたと考えられます。</p>
<p>地域社会への影響</p> <p>400文字程度</p>	<p>河北新報、河北新報オンラインニュース、TBC東北放送、ミヤギテレビ（oh!パンドス）、JTBコミュニケーションズ、NHK、読売新聞、日刊スポーツ、J:COM、FMいずみ、dateFMと多くのメディアに取上げていただきました。羽生選手という、スーパースターを題材としたため、今までに見ないメディアの反応となったと考えられます。</p> <p>フェイスブックでは5月例会がシェア3件、いいね44件に対して8月例会はシェア35件、いいね139件となりました。通常の事業例会は大体5月例会の数値になるのに対して8月例会はシェアが通常の約11倍、いいねが3倍と大きく上回ることができ、羽生選手の効果が大きく表れたと考えられます。</p> <p>泉区民ふるさとまつり当日は来場者全体に驚きと感動を与えることができ、地域のつながりを強め、地域住民の一体感を高めることができたと感じております。また、まつり終了後には泉区役所に巨大フォトモザイクアートが展示されました。まちづくり推進課の大西係長より、「まつり後の月曜日から電話で展示期間の問い合わせや、土日祝日の展示開放の要望があり、毎日数名が見物に來られて写真を撮っている」と聞きました。長く地域に影響をあたえることができたと考えております。3月には、事前の写真の応募からまつり当日の合唱やソーランを踊っていただいた七北田小学校6年生児童の卒業式に合わせ、七北田小学校への寄贈をしました。</p>
<p>LOMへの影響</p>	<p>事業を通じてたくさんの市民が協力し1つのものを創り上げることの一体感やまちづくりを主体的に実行していることを実感することができました。</p>

400文字程度	また、泉区出身である羽生結弦選手というスーパースターをより身近に感じられることで、より我々の地域に愛着をもってもらうことができました。
事業の長期的な影響 400文字程度	泉区出身のフィギュアスケーター・羽生結弦選手を採用することで、まつりを大きく盛り上げるとともに、「泉区」の一体感、誇りを演出しました。羽生選手はオリンピック2大会連続で金メダルを獲得し、泉区民をはじめ全国民に夢と希望を与えました。泉区出身の羽生選手は地域の誇りであり、地域の一体感を高めることができました。なお、羽生選手の写真使用につきましては関係各位から承諾を得るとともに、使用に関する承諾書を書面で取り交わさなくても使用して問題ないことを、仙台市スポーツ振興課に確認しております。事業後には仙台市泉区役所に展示していただきました。現在は羽生選手の母校である仙台市立七北田小学校に寄贈させていただき、七北田小学校関係者の方々にも非常に喜んでいただきました。羽生結弦選手の出身地を一目見たいという方々も多く、より多くの方に泉区の事を知っていただけた例会となりました。
考察や推奨 400文字程度	泉の人たちと「ひとつになった」「つながっている」と、とても感じる、少し感じたという回答が94%を超えました。七北田小学校の児童には事前に授業の一環として泉区の好きなどころの写真を自分たちで撮ってきていただき、それを学校で取り纏めて応募していただきました。当日はフォトモザイクアートに写真を貼っていただき、完成となりました。また、実際に合唱やソーランをやっていただいた時に、来場者から大きな拍手や歓声があがり、児童たちからも達成感から笑顔や歓声があがっており、みんなと協力して成し遂げることの素晴らしさ、一体感が高まったと考えられます。また、写真応募者からのアンケート集計結果からは、「素晴らしかった」、「またやってほしい」、「いずみの絆のプロジェクトにまた参加したい」等、県外からも沢山のコメントをいただき、地域とのつながりや一体感をとても感じる、少し感じるという回答が合わせて100%となりました。よって本事業を通して地域とのつながりを強め、地域住民の一体感を高めることができたと考えられます。
改善点	写真募集段階に泉区全体を巻き込むことができなかつたと感じております。これは、メディアへのアピールへの仕方が薄かつたためだと考えます。事業直前や当日になりメディアにとりあげていただくことで、一気に広まりましたが、事前にもっと力をいれて写真募集もメディアを利用して実行していれば、さらに多くの企業、団体、地域住民から写真の応募があったと考えます。メンバーが動いて告知する力も必要ですが、メディアを利用することは、世間に告知する上では大変大きな力となることを改めて認識させられました。そして天候も雨天時の対応が不十分であったため、完成したフォトモザイクが雨で濡れて損傷し、修復するのに時間がかかりました。

JCI活動計画の推進 JCI VISION活動計画の推進 JCI MISSION活動計画の推進	人をつなぎ未来へつなぐまち(地域)づくりの実践に関わる事項 人と人がつながる一体感を高め、地域住民の郷土愛を醸成しました。
添付資料 PDF資料2MB、5ページ以内	別紙参照

コメントの追加 [俊光1]: この例会がJCIの活動に対してどういう効果があるか記載します。

ミッションは青年が、積極的な変革を創造し、開拓するために能動的な活動ができる機会を創造する。

ビジョンは若き能動的市民のグローバルネットワークであることとあります。

当て込むのがなかなか難しい内容となっていますが審査基準では重要箇所となります。

よろしくお願いします。

一般社団法人泉青年会議所2018年度8月例会

IZUMI279プロジェクト～羽生結弦選手の巨大フォトモザイクアートをつくらう！～

一般社団法人泉青年会議所は2018年度8月25日(土曜日)にIZUMI279プロジェクト～羽生結弦選手の巨大フォトモザイクアートをつくらう！～を第38回泉区民ふるさとまつり会場、仙台市泉区七北田字柳78、七北田公園内 泉ヶ池周辺、メインステージ脇、及びメインステージにて行いました。詳細の内容につきましては、下記内容をご覧ください。

IZUMI279プロジェクト～羽生結弦選手の巨大フォトモザイクアートをつくらう！～

日時：2018年8月25日(土曜日)

会場：第38回泉区民ふるさとまつり会場

仙台市泉区七北田字柳78

七北田公園内 泉ヶ池周辺、メインステージ脇、及びメインステージ

(事業内容)

社会構造の変化に伴い、地縁的なつながりが希薄化し、地域コミュニティが衰退の傾向があります。

そこで、思いやりの心を持ち、地域に誇りと郷土愛を醸成することが必要であると立案しました。

目的を達成するために考えた取組(手法)

地域の企業や団体、住民同士のつながりを創り出す巨大フォトモザイクアートを考案しました。

フォトモザイクアートとは、たくさんの写真が集まり、一つのデザインをつくりだします。

地域からたくさんの魅力あふれる写真を募集し、地域にインパクトを与えるデザインを完成させて、地域のつながりや一体感を創出しようと考えました。



